



加西市別府中町の小池での池干しの様子

水が抜けた泥の中からフナやブルーギルがいっぱい採れました。

池干しは昔はあちこちで見られた光景ですが、最近はあまり見られません



北はりまECO-NEWSの発刊によせて

地球規模の環境破壊が問題とされている中で、私たちは、自然と共生した持続可能な循環型社会の実現をめざし、環境にやさしい生活スタイルの取り組みにひとりひとりが心がけていかなければなりません。また、次代を担う子供たちに、水辺、野山などの自然のすばらしさを伝え、大人も一緒になって自然を楽しみ愛する心を育てていくことはとても大切なことです。

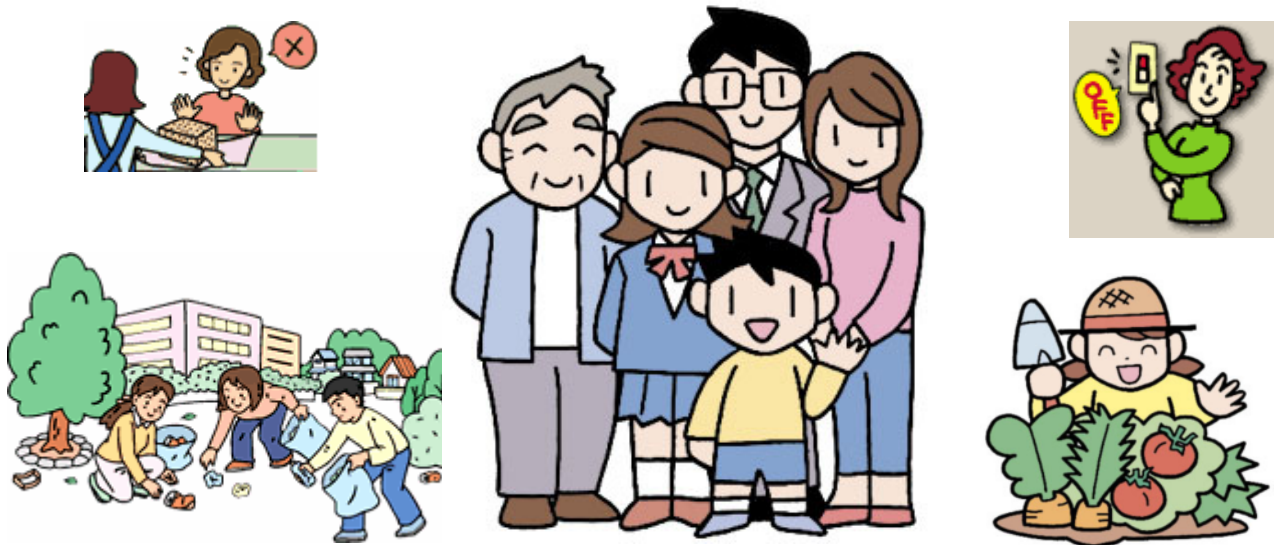
そこで、北播磨地域の環境保全や自然保護に取り組まれている団体や企業、地域の方々、及び環境問題に関心のある県民の皆様方、さらに環境行政に取り組む県・市町の情報交換、情報提供の場となることを願い、このたび北播磨地域の環境情報紙「北はりまECO-NEWS」を発刊することとなりました。

ささやかな情報紙ですが、普段なかなか交流する機会がない環境・自然保護団体の皆様方の情報交換、意見交換の場として、そして環境問題や自然保護に関心を持つ県民の皆様にとって、有意義な情報紙にしたいと思っていますので、どうか今後ともよろしくお願いいたします。

ひとつひとつできることから・・・さわやかな環境づくりに取り組みましょう！

北播磨県民局では

『北播磨地域さわやかな環境づくり行動計画』を策定しています



兵庫県では、北播磨地域の住民の皆さんの意見をもとに、平成15年3月に「北播磨地域さわやかな環境づくり行動計画」を策定しました。

この計画は、県民・事業者・行政が、環境にやさしい暮らしを実現し、環境適合型社会を創造することを目的としています。まずは、皆さんひとりひとりが環境保全に対して日頃から心がける必要があります。

ご家庭で取り組むことができる行動としては、環境にやさしい日常生活に向けた取組みと、自然環境を保全し美しい環境をつくる次のような取組みがあります。

1 環境にやさしい日常生活への取組み

- (1) 家電製品は使用しないときは主電源を切りましょう。
- (2) 冷暖房の設定温度は、夏は28度、冬は20 にしましょう。
- (3) 夏は窓を開けて自然通気を心がけ、エアコンなどの使用を少なくしましょう。シャワーの使用時間は短くしましょう。
- (4) 電化製品を購入するときは、省エネタイプのものを購入するようにしましょう。
- (5) スプレーや冷蔵庫を購入するときは、フロンを使用しないものを購入しましょう。
- (6) 5R生活と言われている、リフューズ（不使用）・リデュース（ごみを減らす）・リユース（再利用）・リサイクル（再資源化）・リペア（修理）を心がけましょう。
- (7) 可能な限り自家用車の利用を控え、JR加古川線やバスなど、エネルギー消費効率の高い公共交通機関や自転車を利用しましょう。
- (8) 環境を汚すものを出さない暮らしとして、ごみの野焼きやポイ捨てはやめましょう。

2 自然環境を保全し美しい環境をつくる取組み

- (1) 庭や生垣などをつくり、家庭の緑化を推進しましょう。
- (2) 地域の緑化活動グループによる緑化の推進に協力しましょう。
- (3) 豊かな自然環境を保全するため、山や川の清掃を行い、自然環境へのふれあいを深めましょう。
- (4) 野生の動植物を保護するため、野鳥観察会や野生生物の保護活動に積極的に参加し、自然との共生を心がけましょう。
- (5) 健全な水循環や人と自然のふれあいを回復し、自然環境の再生を目指す「ひょうごの森・川・海再生プランの推進」に積極的に参加しましょう。

地球温暖化が大きな問題となっている今、まずはひとりひとりが環境保全について考え、一步一步できることから取り組むことが大切です。そして県民・地域コミュニティ・事業者・行政など、それぞれが指針、目標を定め、北播磨地域のさわやかな環境づくり、ひいては地球環境を守るために何をやらなくてはいいかわからない、考えなければならないことは何なのかをそれぞれの立場から取り組んでいくことが大切です。

「北播磨地域さわやかな環境づくり行動計画の推進計画」は冊子として取りまとめられており、北播磨県民局で配布しております。また、この計画についてのお問い合わせは最終ページ下に記載されている事務局までよろしくお願いいたします。

兵庫県は

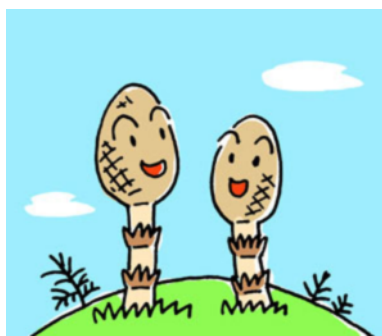
「森・川・海再生プラン」を推進しています！

兵庫県では、失われた自然や健全な水の循環、人と自然の豊かなふれあいの回復を目指し、美しい兵庫づくりを推進するために、「ひょうごの森・川・海再生プラン」を平成14年5月に策定いたしました。

このプランでは、沿岸地域で大規模開発が始まる前の1950年ごろの水辺の環境を回復することを目標に、森と川と海をつなぐ自然回復や環境保全の施策・事業を新たな視点に立って推進していきます。

特に北播磨地域は古くからため池が多く、県を代表する大河である加古川が南北に流れ、これらは地域の産業、文化に大きな影響を与えてきました。また、ため池や田んぼ、川などはすばらしい自然や美しい風景を提供し、地域の人々の交流やいこいの場ともなり、地域にとって大切な水辺空間であり、貴重な財産です。

北播磨県民局では、北播磨地域の美しい水辺環境を次の世代に残すために何をするべきか、できることは何かを皆様と一緒に考えるため、今後も森・川・海再生プランに関係する各種のイベント、セミナー等を実施する予定ですので、皆様お問い合わせのうえどしどしご参加下さい。



森の再生

森には様々な動物や、植物が生息しています。
また、森は地球温暖化の原因物質のひとつである二酸化炭素を吸収し雨を土壤に蓄えることにより、洪水を防ぎ、土壤の豊かな栄養分を川から海に流しています。森の環境破壊は、そのまま川や海への環境破壊につながります。

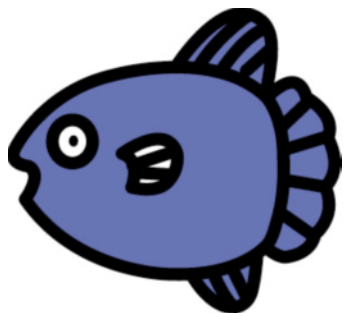
森の再生のためには、間伐等の適切な森林の管理が必要です。

川の再生

川は上流の山から海をつないでいます。

古来より、私たちは水に親しみ、その恵みを享受してきました。

川の再生のためには、生活排水や工場排水等の流入による水質の悪化を防止するとともに、瀬や淵にある自然に配慮した川づくり、人々が水に親しめる親水空間の整備などが必要です。



海の再生

高度成長期以降、海は美しさを失い、赤潮の発生など様々な障害が発生しています。

海の再生のためには、生活排水や工場排水の流入による水質悪化の防止、失われた藻場や干潟の再生、多自然型の護岸整備などが必要です。

海の水は蒸発して野山に雨として降り注ぎます。

海の水質悪化は森へと還ってしまいます

生物の命の源である水は「降水→土壌水→地下水→地表水（河川・湖沼）→海洋」という循環を形成しています。この循環の中で、流域では、森や農地が雨水流出を抑制する保水・遊水機能を発揮していました。また、河川においても、その自浄効果により水の浄化が行われていました。

しかし、近年の開発の進展、森林管理の後退や河川・海岸等のコンクリート化等により、一部でこれらの機能が著しく低下してきています。そのため、森～川～海をつなぐ健全な水環境の再構築を図り、森林等の有する保水機能や河川、海岸の浄化機能等を再生・回復していくことが必要です。

ECOコミュニティ北はりま

このコーナーでは、環境保全や自然保護、リサイクル活動等に取り組む団体や地域での取り組みを紹介します。

兵庫県立播磨農業高等学校

田んぼの学校3

稲作研究班 2年 石原 福太郎

私たちが普段実習を行っているアイガモ水田には、希少な動植物が生息し、地域の遺伝子プールとなっています。その水田や水路を利用して3年前から「田んぼの学校」として公開しています。学校では以前からサイマイモ堀などの「畑の学校」を行っていききました。私たちが実習してる圃場を開放し、小さな子供から大人まで農業体験してもらっています。

私たちの学校では、平成6年からアイガモ水稻同時作を行っています。平成13年には全国農業高校ではじめて日本農林規格JASの有機認証を取得しました。その水田では春先にカスミサンショウオが産卵に訪れたり、田植えの時期にコオイムシやメダカ、イチモンジタナゴ、カワバタモロコが水路や水田にたくさん姿を見せてくれます。

アイガモ水田は田園空間の動植物を保全する遺伝子プールとすることが可能であること、また、子供から大人まで安心して農業に親しんでもらえる水田であると確信しています。

みなさんも学校の近くまでこられることがありましたら、アイガモ水田をのぞいてみて下さい。



田園空間ネットワーク！

稲作研究班 2年 上月 誠也

私たち播磨農高の稲作研究班では、今年から「森・川・海再生事業」で加西市内の河川の水質調査やため池の調査を行っています。

私の家は加西の隣の香寺町で水稻栽培を行っています。学校の水田は、ため池からの灌漑用水を引いています。家の水田は川からの用水です。私は学校で農業の勉強をしていますので「ため池・川」の水質調査には大変興味を持っていました。

加西市内のため池の水質は富栄養であったり、河川でもある種の水生生物が繁殖していました。今までは農業を行う者が、灌漑用の溝掃除や池の管理をしていましたが、私はこの調査やフォーラムを通じて、田園空間の環境をよくするには地域の住民や上流や下流の住民が協力することが重要であると感じました。

その橋渡しをするのは、私たちで農業を学ぶ者でありたいと思います。地域住民や流域のみなさんとネットワークを構築し、21世紀の日本の食料生産と環境、そして新しい田園空間を創造して行きましょう！

生活協同組合コープこうべ

コープこうべでは、身近なところからの「環境に配慮した暮らし方」の一環として、紙パックやアルミ缶、ペットボトルなどの回収と再利用、資源を大切に使うためのマイバッグ運動など、組合員ひとりひとりが参加できる環境活動に取り組んできました。特にマイバッグ運動では、レジ袋を5円で自主的におとりいただく方式により、10人に7人の方が買物袋を持参されています。袋代5円は、組合員や地域社会の環境活動にいかしたり、「コープこうべ環境基金」を通して自然活動に取り組む県内の団体の支援に活用されています。

また、資源の有効活用や使用量の削減など環境に配慮した環境商品や人と自然にやさしい食べものとして生鮮食品を主体とした「フードプラン」商品を開発し供給しています。さらに全事業所でISO14001を取得しながら、資源循環型農園を提案する「エコファーム」事業の取り組みや食品工場でのバイオマス発電施設の導入などにも取り組み、事業活動から発生する直接・間接の環境への負担を低減する努力を続けています。



「E C Oコミュニティ北はりま」のコーナーでは、環境保全、自然保護、リサイクルに取り組む団体、地域の皆さんの投稿をお待ちしています！

皆様方の普段の活動や取り組みなどについて、ぜひ当コーナーへお気軽に投稿をお願いします！

環境保全、自然保護、リサイクルに取り組む団体、地域の方々と、北播磨地域で何らかの活動をされてる方ならどなたでもOKです！普段はなかなかお互いに交流がない環境保全団体の情報交換の場として、有意義なものにしていきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。

1 内容

- ・普段の活動内容の紹介 ・団体のイベント、今後のイベントの
- ・その他活動に関する内容 環境保全、自然保護等に関する内容をお願いします。

2 投稿形式

郵送、FAXまたは電子メールでの投稿をお願いいたします。

100～400字程度をお願いします。用紙は自由です。

できれば記事に即した写真を添付して下さい。(写真は返却いたします)

投稿頂いた方には粗品をお送りいたします。

3 送付先・問い合わせ先

送付、問い合わせは、最終ページ下の事務局までお願いいたします。

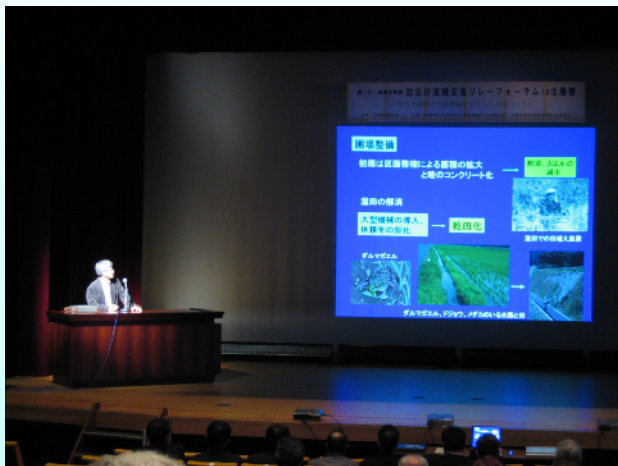
北はりまエコニュースは環境・自然保護団体の皆様方の情報交換、意見交換の場としてお役に立てればと願っています。

北播磨地域で環境保全活動、自然保護活動等に取り組まれている方、または団体がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡、またはご紹介下さい。

イベント情報

「加古川流域交流リレーフォーラム in 北播磨」を開催 ～北播磨県民局～

平成16年12月4日(土) 滝野町文化会館にて「加古川流域交流リレーフォーラム in 北播磨」が開催されました。兵庫県では、沿岸地域で大規模開発が始まる前の1950年ごろの水辺の環境を回復することを目標に、「ひょうごの森・川・海再生プラン」を策定していますが、このフォーラムは加古川流域の森・川・海の再生について、北播磨の自然と環境を次の世代の子供たちに手渡すために、私達がまずできることは何なのか考えるきっかけになればと願い開催されました。



まず、滝野町交通安全ちんどん隊、コーラス「ちあふる」の皆様のオープニングで盛り上げていただき、市川憲平先生の基調講演「水辺の自然再生に向けて」、県立播磨農業高等学校の生徒の皆さんによる発表、北播磨地域で、自然保全活動、環境教育、地域活動、に取り組まれている方々によるパネルディスカッションが行われ、予定していた3時間はあっという間に過ぎてしまいました。

ロビーでは加古川漁業協同組合による加古川の魚の展示が行われ、また、参加者の皆さんにアマゴの塩焼きがふるまわれました。これからの北播磨地域の水辺、自然環境の再生活動について考えることができたフォーラムでした。

なお、このフォーラムの講演、パネルディスカッションの詳しい内容をとりまとめた記録集が刊行されましたので、希望される方は最終ページ下の事務局までご連絡下さい。

万願寺川及び周辺ため池環境調査・ため池フォーラム等の実施 ～北播磨県民局・加西市～

加西地域は古くからため池が多く、地域の産業、文化に大きな影響を与えてきました。ため池はすばらしい自然や美しい風景を提供し、地域の人々の交流やいいの場ともなり、地域にとって大切な水辺空間である貴重な財産であり、特に加西地区のため池周辺ではコウホネ、ベッコウトンボ、コハクチョウなどの貴重な動植物が生息しています。

そこで北播磨県民局では平成16年度事業として、加西市内のため池や、市内を流れる万願寺川について、動植物の生息状況を確認する環境調査等を行い、動植物の生息、生育状況を把握するほか、一般に参加者を募集した自然観察会、ため池フォーラムを実施しました。

調査の内容についてはリーフレットとして取りまとめる予定です。



「環境学習器材」の貸出について

地球温暖化や廃棄物問題、身近な自然の現象など、今日の環境問題の多くは、私たちの日常生活や通常の事業活動に起因していることから、環境保全活動も生活の様々な局面で行われることが必要となります。

そこで、北播磨県民局では、身近な地域での環境学習を推進することを目的として、県民がいつでも、どこでも環境学習に取り組めるように、環境学習器材を県民に**無料**で貸し出す事業を始めました。

利用対象者

北播磨地域における環境学習に使用する個人又は団体

(営利を目的とした活動や特定の政治活動及び宗教活動での使用は不可)



主な貸出器材

- (1) 図書(野鳥観察ハンディ図鑑、ひょうごの野生生物等) (2)測定器材(簡易酸性雨測定キット、デジタルPH計、温度計等)
 (3) 観察器材(ルーペ、双眼鏡、聴診器、集音器、両面観察器等) (4)体験学習器材(紙すきセット、かんきょうかるた)
 詳細は、下表の「環境学習器材一覧」参照

貸出数量及び貸出期間

- (1) 貸出期間は、**1週間以内** (2) 貸出費用は、**無料**

申込み方法

貸出を希望される方は、別途配布する「環境学習器材の貸与に関する取扱要領」をよくお読みいただき、電話にて貸出器材の空き状況を確認の上、環境課へ申請してください。(問い合わせ先、申込み先は、最終ページ下に記載の事務局まで)

北播磨県民局「環境学習器材一覧」

番号	器 材 名	数 量	仕 様 等	備 考
	ポケットデジタルPH計	1	本体、ケース、試薬	酸性雨や河川の水質調査用
	酸性雨採取器「雨彦くん」	4	本体、採水容器	酸性雨調査用
	簡易酸性雨測定セット	4	蓋付ビニ、試験管、試薬、スポイト、ロート、比色表、台	酸性雨調査用
	紙すきセット<紙工房>	1	紙すきすだれ、たらい、パルプ、化学のり	紙すき体験実習用 1セット12台(1台から貸出可)
	プラスチックちょうしんき	20	本体	野外で樹木の鼓動を聞く等の体験学習器材
	集音器ソニックエクスプローラ	4	本体、パラボラアンテナ、ヘッドフォン	野外で野鳥や虫の鳴き声を聞く等の体験学習用
	両面観察器	6	本体、上面レンズ、昆虫模型	昆虫や水生生物等を上面、下面から拡大観察
	かんきょう かるた	5	取り札、読み札(各44枚)	かるたで覚える環境問題
	たんけん・かんさつボード	22	本体、ひも	野外活動での観察・記録用
	自然観察指導パネル	1	20枚組	自然観察説明
	双眼鏡	20	本体、収納ケース	野鳥等の野外観察用
	ルーペ	42	本体	昆虫や植物等の観察用
	児童用温度計(保護ケース入り)	20	本体、保護ケース、白黒樹脂板	水温や土中温度の測定用
	アクアスコープ	4	本体	水中生物観察用
	新・山野の鳥「野鳥観察ハンディ図鑑」	3	カラー・64ページ	環境学習用書籍
	新・水辺の鳥「野鳥観察ハンディ図鑑」	3	カラー・64ページ	環境学習用書籍
	ひょうごの野生動物	2	白黒・229ページ	環境学習用書籍
	ひょうごの野生植物	2	白黒・222ページ	環境学習用書籍
	ひょうごの地形・地質・自然景観	2	白黒・190ページ	環境学習用書籍
	近畿自然歩道・ひょうごの自然歩道ガイド	10	カラー・287ページ	環境学習用書籍

北播磨の水辺の生き物シリーズその1

ライギョ(タイワンドジョウ・カムルチー)

へビみたいな模様で少し気持ち悪い魚ですが、もともとは食用として朝鮮半島、及び台湾から明治時代から大正時代にかけて移入された外来種です。一般的にライギョと呼ばれてますが、朝鮮からきたものをカムルチー、台湾からきたものをタイワンドジョウと区別されます。

北播磨のため池にもたくさん生息していますが、数はブラックバスやブルーギルと比べて少ないようです。小魚、エビ、カエルなどを食べ食欲も旺盛で、大きなものは1mを超えるものいますが、ブルーギル・ブラックバスほど在来種の生態系に影響は与えないとされています。「昔はこれを食べたんや!」という人も多いようで、天ぷらにしたらおいしいそうです。(調理する場合は必ず火を通してくださいね)

これはカムルチーです →



おもしろ環境アクションシリーズその1

「ワケトン」～神戸市のゴミ分別マスコット～

北播磨のおとなり、神戸市に登場したミニブタのワケトンくんです! みんなにゴミと資源をきちんと分別してもらえると願って「ゴミはトコトン分けトン知っトントン!」を合い言葉に、仲間のワケニャンとワケピーと一緒に頑張ってます。

着ぐるみはちょっと顔が怖いですが(笑)愛嬌はたっぷり商店街のお祭りとかにでも呼ばれて行くことがあるみたいです。神戸市環境局のホームページには、ワケトンたちの壁紙や便せんがダウンロードできるコーナーもありますよ!

北播磨にも、こんなワケトンのようなゴミ分別や環境のために頑張ってくれるマスコットがいてくれたらいいのに・・・とうらやましく思っています。

北播磨でも「ゴミはトコトン分けトン知っトントン!」を合い言葉に、ゴミの分別をしっかりやりましょうね!

神戸市環境局ホームページ <http://www.city.kobe.jp/cityoffice/24/>

環境クイズ

フロンガスなどの影響でオゾン層の破壊が進んでいることが大きな問題になっていますが、では、オゾン層が破壊されることによって、人体にはどのような悪影響が及ぼされるのでしょうか?

- 花粉症になる人が増える
- 骨がもろくなり骨折しやすくなる
- 皮膚ガンが増加する
- 肺ガンが増加する

正しいと思う番号を記入の上、住所、氏名、年齢、エコニュースの感想をお書きのうえ、ハガキ又はFAXで右の事務局あてお送り下さい。

正解の方から抽選で3名様にのじぎく兵庫国体マスコットの「はばタン線形パズル」をお送りします。

締切 平成17年6月30日到着分まで

編集後記

北はりま ECO-NEWS 第1号、無事に発刊することができました。これからも 手作りで 誰でも参加できる 気軽な環境情報紙を目指して頑張りたいと思います。

平成17年度からは年2回の発行を予定しています。ご意見やご感想はもちろん、投稿などもお待ちしております! ささやかな情報紙ですが、「またしょもないもの作ってるわー」と言われないように(笑) 真に皆さんに楽しんで読んでもらえる情報紙を目指していますので、どうかこれからもよろしくお願いします。

編集・発行

北播磨地域さわやかな環境づくり行動計画推進委員会

事務局 兵庫県北播磨県民局県民生活部環境課

〒673-1431

兵庫県加東郡社町社字西柿 1075-2

TEL 0795-42-5111(内 342) FAX 0795-42-7103

電子メールアドレスについては迷惑メール防止のため紙面では公開していません。ご迷惑をおかけしますがお電話にてお問い合わせをお願いします。

北播磨県民局ホームページ <http://web.pref.hyogo.jp/kitaharima/index.html>